

I -2 住民ができる地域防災を考える

この大地のでき方と育ちを知って、防災につなげる

自然環境

人為環境

安全

利便性

避難、回避、
減勢

安全、安心、
快適

2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

1

できることをできる範囲で行う

「知る」

地域の地形・地質

歴史・土地利用

言い伝え、古文書、
地名の由来など

災害履歴

「観る」

危険なもの、ところ

役に立つもの(人、施設、
モノ、情報……)

改善、改修したいもの

知りたいこと

「活かす」

自然災害に関するリスクと被害
の最小化へ向けて

2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

2

隆起・浸食

外力(地震、火山、豪雨など)

プレートの影響

風化、変質、砂状化

物性の変化(軟らかさ、組織・構造の変異、分離、脱離、たわみ、破碎など)

自然災害の素因の形成

+

誘因(地震、豪雨など)

=自然災害→**地表地形の変化**

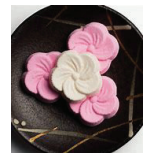
2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

3

日本列島は……

らくがん……砂山、浸食されやすい、ボロボロ
浸すともろい



理由ありせんべい……割れたり、欠けたり、ふぞろい



やきもち……思わぬあんこでヤケド



2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

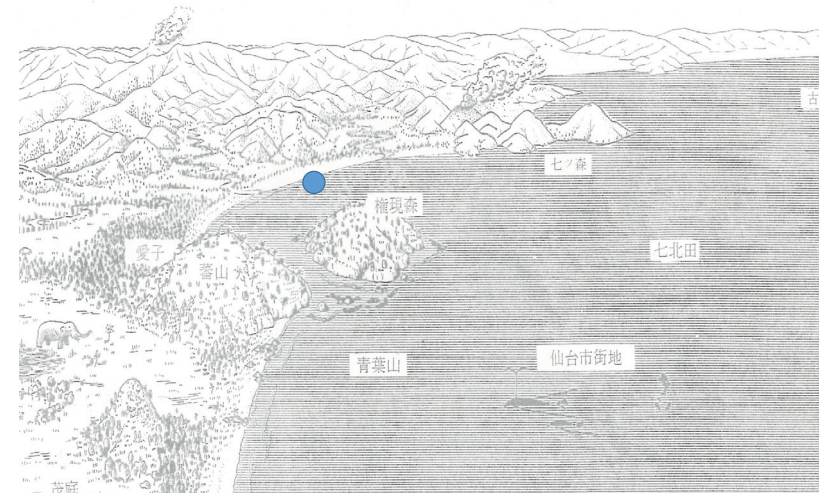
4

時代ごとの出来事	変 動
(現在に至る) 【沖積平野の形成】 10000 年前	長町—利府線の活動
氷期と間氷期 【段丘の形成】 70-150 万年前	
海進(寒流)→海退(陸化)→海進→海退(陸化) 【仙台亜炭、化石林の形成】 500 万年前	鉤取—奥富士線の活動
大陸から分離→激しい火山活動→海進(暖流) →火山活動→海退→隆起・浸食→陸上での火山 活動→浸食→火山活動(カルデラ形成) 2600 万年前	陥没、埋積の繰り返し

2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

5



2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

6

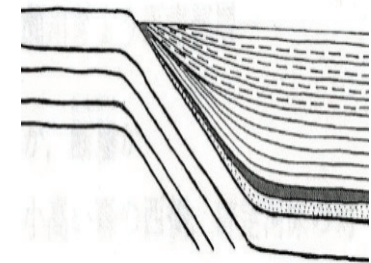
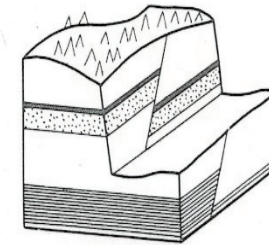


2020/12/12

大沢市民センター 大沢地域防災講座

7

断層(不連続)と撓曲(タワミ)



自然災害の素因と誘因

地形(地表の形)＝土地の性質→河川災害、土砂災害

地質(材料)や地質構造(でき方)→地震の揺れ方→

建物の損壊、地盤災害

地表状況＝浸透能力が低下→内水氾濫

山地の森林環境→流木、閉塞、土砂災害

気象の変化＝地球温暖化→海水温、降雨量や降り方が激しくなっている

地域を災害から守る

- ☆ 地域に関心を持ち、ちょっとした変化や異変にきづく
- ☆ 情報を共有する(あとは×、いまが○)
- ☆ 豪雨や地震の跡には必ず点検する
(点検すべきポイントを決めておく)
- ☆ 他地域の災害を教科書にして、シミュレーションする(自分のところでおきたらどうするか?)
- ☆ 知らなかった、想定外をできるだけなくす
- ☆ 「…の奇蹟」ではなく、「…は当然」

観察のポイント

- ①ハザードマップで土砂災害危険箇所や特別警戒箇所を確認！
- ②河川の合流箇所や水が上がりやすいところを確認！
- ③被害の履歴箇所や様子を知っておく！
- ④雨が降ると水がたまりやすいところ、水が流れる斜面などを確認！
- ⑤沢の出口の様子を知る！
- ⑥造成地の端部(斜面)、擁壁、道路変状(沈下、陥没)を観察！
- ⑦対策箇所の様子を確かめる！

